

2015年度 浦安市協働提案事業 「浦安景観まちづくり講座」 キックオフミーティング（第1回）が開催されました

浦安市都市計画課・うらやす景観まちづくりフォーラムの協働提案事業として、2015年度「浦安景観まちづくり講座」のキックオフミーティング（第1回）が、5月17日（日）WAVE101で開催されました。以下、当日の様子をご紹介します。

■開会挨拶（都市計画課・市川課長）

最初に、都市計画課・市川課長より開会の挨拶がありました。



都市計画課・市川課長

浦安市では早くから新浦安駅周辺を中心に景観まちづくりに取り組んでいる。2004年の景観法施行をきっかけにやる気のある市町村は「景観行政団体」になり、「景観計画」をつくり実践的にやれるようになった。市でも2009年に景観計画を策定し、市民、事業者、行政が三位一体になって景観まちづくりを進めている。昨年より、うらやす景観まちづくりフォーラム（以下フォーラム）と一緒に連続講座を実施している。景観とはなにか、景観まちづくりとはなにかを学んでいただきたい。

■挨拶（フォーラム会長・小林）

フォーラム会長・小林から挨拶がありました。



フォーラム会長・小林

フォーラムは、2009、2010年度、市の主催の景観資源探しへの参加者が中心である。震災後、景観まちづくりの流れを消してしまうのは問題という認識でフォーラムを始めた。

私たちも「景観」や「景観まちづくり」が十

分にわかっているわけではないが、分からないなりの立場でやっている。昨年に引き続き、今年はさらに発展させていきたい。

■市の景観行政について（都市計画課・坂野さん）

続いて、都市計画課・坂野さんより市の景観行政について、紹介がありました。



都市計画課・坂野さん

浦安市の景観計画は市全域を景観計画区域として定め、拠点、ゾーン、景観重点区域の3つに区分している。さらに各区域の特徴にあわせた形や色といった景観形成基準を設けて、よりよい景観への誘導を行っている。景観計画のなかで、協働による景観まちづくりについては、「共に創り、共に育てる」ことを目標に掲げ、市民、事業者、市が協働して創り上げることとしている。具体的には資源リストづくりや表彰制度などが取り組みの指針となっている。

昨年度まで一定の成果を上げており、今年度はステップをあげた取り組みとなっている。市民のみなさんの参加を得て取り組みたい。

■景観まちづくりについて（フォーラム会長・小林）

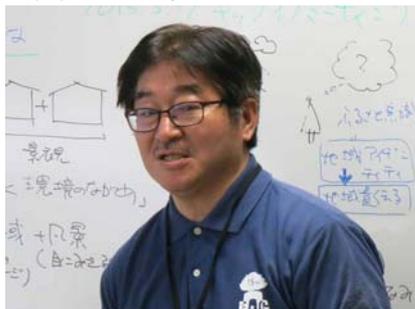
続いて、小林（前掲）から、景観まちづくりの考えについて、紹介がありました。

「景観」とはいくつかの定義があるが、「人間をとりまく環境の眺め」や、「景観＝地域＋風景」とあるように、目に映る像だけでなく人々の営みがある環境や地域のイメージを含むものである。こうした景観に働きかける「景観まちづくり」とは多様なまちづくりの成果を景観として現し、地域力を高めていくことだといえる。

■これまでの取り組みと今年度の講座趣旨（フォーラム・浅川）

休憩をはさんで、フォーラムの浅川から、こ

れまでの取り組みと今年度の講座趣旨について説明がありました。



フォーラム・浅川

2014年度の浦安景観まちづくり啓発事業は、6回の景観まちづくり連続講座、2回の子ども向け講座を実施しただけでなく、「うら景まち広場 (<http://urayasu-kmf.org>)」というホームページでの情報発信や、都市計画課発行の「うらやす景観通信」という市民向けニュースを協働で編集した。連続講座のアンケートでは、第2回「水辺の景観を考える」の満足度が高かったが、他の回も概ね満足いただけたと見える。

2015年度はまちあるきを通じて「よりよい景観資源」「改善したい景観資源」探しを行いたい。今日を含めて7回の講座を予定している。

参加者からは、以下の質問がありました。

質問) 小林会長の景観まちづくりの話と今回の連続講座の関係はどうなっているのか？

回答) 景観まちづくりの視点をもって、取り組んでいただくという関係だと考えている。

質問) 阻害要因については景観だけでなく、人や仕組みに関するものもあるのでは？

回答) 確かにその課題はあるが、今回の調査を多様な人と組織をつなぐきっかけにしたい。

質問) この講座の行政での位置づけが曖昧に感じる。具体のフィードバックをお願いしたい。

回答) 景観資源リストは市のHPでも公表している。改善点をすぐ対応するのは難しいが、この講座を通じた意見交換、景観計画の見直しなどの機会を通じて検討したい。

■参加者の紹介

休憩のあと、他己紹介（隣の人のお話を聞き、全員に向けて隣の人（他己）を紹介する）を行いました。その結果、参加者の住まいは元町1名、中町10名、新町6名、その他の3名であることが分かりました。また、毎日市内を2時間半歩いている方、スポーツ自転車で月500km走る方、茅場の保全に関わっている方、

住宅地の建替計画の委員の方、まちづくりに関心がある大学生など、多彩な方にご参加いただいていることが分かりました。



当日の会場（他己紹介・隣の人と対話中）

■閉会挨拶（フォーラム副会長・大和）

閉会に際して、フォーラム副会長・大和より、挨拶がありました。

浦安市には景観計画と同様に、都市計画マスタープランもある。記載の内容の通り進めば、よりよいまちになると実感しているが、協働ではまだ課題がある。市民の側からもなにかができるのかを模索しており、われわれも歩きながら考えている。市川課長も実践が重要との意識をお持ちだ。行政や市民のみなさんと率直な意見交換を通じて取り組んでいきたい。

今年は昨年より一歩発展させた内容を考えている。多くの市民の方に輪を広げることが重要であり、第2回以降の講座にも参加していただきたい。本日はありがとうございました。



フォーラム副会長・大和

■イベント案内*****

●【協働事業】「浦安景観まちづくり連続講座」第2回「道路・みどり（軸）調査」/日時：7/19（日）10時・美浜公民館集合/参加費：無料/申込・問合せ：asakawa@comdesign.jp（フォーラム・浅川）